

2020年度 第2回 7月 早慶上理・難関国公立大模試

日本史B・採点基準

単答問題部分

◆単答問題・共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記、カタカナで書くべき用語（語句）の漢字・ひらがな表記、にも得点を与えない。漢数字を含む用語（語句）について、数字を算用数字で示した表記も得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

1 古代の寺院（2点×10＝20点）

*注意事項・許容解など

特になし。

2 中世の史料（2点×10＝20点）

*注意事項・許容解

特になし。

3 江戸の職人（2点×3＝6点）

*注意事項・許容解など

特になし。

4 製鉄業・製鋼業の歴史（2点×10＝20点）

*注意事項・許容解など

特になし。

5 近現代の対外関係（2点×10＝20点）

*注意事項・許容解など

特になし。

論述問題部分

◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものはアミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する(◎で示した事項、< >内に示した事項に内容が反していないかを確認する)。例外的対応などについては※で示してある。
2. **歴史用語等**(太字で表示)についての誤字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記、漢数字を含む用語(語句)への算用数字をもちいた表記は、それが加点要素に直接関係する場合、漢字1文字分につき**1点減点**とするが、**脱字**、**当て字のある歴史用語等**の表記は、非加点。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所にも誤字があった場合、減点しない。
3. 制限字数を超過した答案については、模試という性質を考慮して対処する。

◆採点基準上の記号◆

1. ◎ …前提条件 (例) 「◎**アメリカ**」
「**a 第一次世界大戦**に参戦した」
→答案例「**イギリスは第一次世界大戦に参戦した**」
◎の内容と整合性がないため**非加点**
※◎の内容は答案上に明示されていなくても良い
2. < > …前提条件 (例) 「**a <首相の>浜口雄幸**」
→答案例「**浜口雄幸蔵相**」
< >の内容と整合性がないため**非加点**
※< >の内容は答案上に明示されていなくても良い
3. [] …別表現 (例) 「**a 益田 [天草四郎] 時貞**」 → 「**益田時貞**」と「**天草四郎時貞**」
4. () …省略可能箇所 (例) 「**a 遙任(国司)**」 → 「**遙任**」と「**遙任国司**」

3 江戸の職人

問2

◆加要素の合計3点→3点満点◆

◎幕府が課した負担

- a (諸)大名に課した …………… 1点以内
- b お手伝い普請 …………… 2点以内

問4

◆加要素の合計3点→3点満点◆

◎1615年

- a 大坂の役があった …………… 1点以内
- b 豊臣秀頼が滅ぼされた …………… 2点以内

問6

◆加要素の合計8点→8点満点◆

◎江戸の職人

- a 在郷商人と結ぶ職人との競争が激化した …………… 3点以内

◎農村の状況

- b 自給自足だった農村では手工業品の需要はなかった …………… 2点以内

◎江戸の状況

- c 明暦の大火など火事が多発したことで建築の需要があり続けた …………… 3点以内